

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【家庭科】

書名 項目	新しい家庭		2 東書
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「成長の記録」では各題材の学びの記録を作ることができ、学習の見通しが持てるようになっている。 ・「トライカード」や「〇〇名人」など児童の興味や関心が高まるような工夫となっている。 ・実習の手順は写真を用いてイメージがしやすくなっている。注意点では「安全マーク」で提示され、実習前に作業の見通しをもてるようになっている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・3ステップ構成で、発見した課題を解決・実践し、そこから新しい課題を見つけていけるよう工夫されている。 ・児童に投げかける言葉が吹き出しで示され、思考が深まる工夫になっている。 ・題材の中に「考えよう」「話し合おう」などの活動が設けられ友達との意見交流や実際の活動から、主体的に考えられるような工夫となっている。 ・トライシートでは、デジタル思考ツールなどのコンテンツがあり、意見を可視化したり整理したりすることで思考を広げ、深めることができるような工夫となっている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第5学年」では、衣食住に関わる基本的な学習や現在の生活をよりよくすることを意識させるような内容となっている。 ・「第6学年」では、第5学年で学習したことを活用して、より豊かな生活を送り、将来の生活につなげることを意識させる内容となっている。 ・まとめでは、「できたかな」の欄を設け、学習成果を確かめることができる。項目が細かく設定されているため児童が達成感を味わえる工夫となっている。 ・ステップ3では、二次元コードを読み取り、学んだことをまとめられるワークシートがついている。 ・「日本の伝統」にも触れ、学習内容に関連した仕事や生活への興味が高まるよう工夫されている。 	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年でSDGsの視点が学習に取り入れられている。 ・防災、プログラミング、キャリア教育などの視点が学習内容に取り入れられている。 ・他教科の学習との関わりを表すマークが解決方法を導く工夫となっている。 	
その他	＜資料の構成・配列や表記・表現＞		
	<p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手順や基礎・基本となる技能は写真やイラストだけではなく、二次元コードで読み取り、動画視聴の活用もできるようになっている。動画にはナレーションや字幕がついている。身近な話題を取り上げ、必要感を持たせる導入がされている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の技能の確認では、左利きの児童の手元の写真も提示されている。 ・ユニバーサルデザインの視点で、図やグラフがわかりやすいように工夫されている。字形が判別しやすく、読み間違えにくいフォントを使用している。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【家庭科】

書名 項目	わたしたちの家庭科		9 開隆堂
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「気付く、見つける」、「わかる、できる」、「生かす、深める」の3つのステップで構成されていることで学習の見通しを持てるような工夫となっている。 ・「生活の見方・考え方 4つの視点」を表した四つ葉のクローバーを掲載し、児童が自分の生活を見直し、課題が見つかる工夫がされている。 ・実習の手順は、写真を用いてイメージがしやすくなっている。また、注意してもらいたい点はマークでわかりやすく示されているため、実習前に作業の見通しがもてるような工夫となっている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の思考を広げ、深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」「話し合おう」「調べよう」等の場面が題材の中に設定され、友達との意見交流や実際の活動において思考を深められるような工夫となっている。 ・題材の導入では、「マイめあて」を記入するスペースが設けられていることで児童が日常生活と関連づけて思考を深めることができるようになっている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第5学年」では、衣食住に関わる基本的な学習や現在の生活をよりよくすることを意識させるような内容となっている。 ・「第6学年」では、第5学年で学習したことを活用して、より豊かな生活を送り、将来の生活につなげることを意識させる内容となっている。 ・「キャリアインタビュー」が記載されていて学んだことを生かした身の回りの工夫や関連する職業を知ることができる。 ・振り返りでは、めあてを達成することができたかどうかチェックする□があるため、児童は何を身につけたら良いのか確認しながら学習できるようになっている。 ・日常生活に必要な基礎・基本を着実に身に付けられるようにスモールステップで易しいものから積み重ね、発展していくよう工夫されている。 	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムでは、第5学年の学習と自然環境のかかわりについて、第6学年ではSDGsにつながる行動について取り扱っている。 ・防災、プログラミング、キャリア教育などの視点が学習内容に取り入れられている。 ・他教科とのつながりがわかる二次元コードが表示されている。 		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手順や基礎・基本となる技能は写真やイラストだけではなく、二次元コードで読み取り、動画視聴の活用もできるようになっている。 ・安全について注意を促す「安全マーク」等、学びとの関連を示すマークが使われている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の技能の確認では、右利きだけではなく左利きの児童の手元の写真も提示されている。 ・実習の手順など理解が難しいとされる活動では、モデル動画が示されている。全ての動画にナレーションが導入されており、細かく分かれているので正しい技能の習得ができる。 ・難しい読み方の漢字には、ルビがふってある。 		